

PISCO

(株)日本ピスコ

世界へ 未来へつながる

SUSTAINABLEなモノづくり

INNOVATION発信基地を岡谷から

～お客様と共に創る～

地中熱利用の普及

2025年(令和7年) 11月19日



# 1. 地中熱導入のコンセプト

## 経営理念

私たちは  
お互いの個性を尊重し合い  
チーム力を発揮し  
独自の知恵と技術で  
お客様の立場にたったモノ造りに  
挑戦します

地球環境にも配慮して  
世界中のお客様に信頼される  
より良い商品とサービスを提供し続け  
社会に貢献します

2006年10月18日

山崎 清康 

## ■ 経営理念とは…

「経営理念」は、企業の原点であり、企業の存在意義「志」を明確にし、行動規範となる原理・原則と言えます。企業思想の拠り所、つまり「道しるべ」となるものですから、社内の共通語として全社員へ浸透させ、更にお客様へ「メーカーPISCO」の企業メッセージとして語り続けるものが、「経営理念」です。2006年10月18日制定。

## 地球環境にも配慮して～

自然環境と協調する中で成長・発展を図る

### ●地球温暖化防止

- ・地球資源の枯渇抑止、環境問題への取り組み  
環境への配慮

### ●SDGs(持続可能な開発目標)

エコファクトリーの推進

### ●再生可能エネルギーの導入

- ・太陽光発電システム設置(蓄電池含む)  
2009年2月～ 2025年5月 1,085kW(全工場計)  
蓄電池 90kW
- ・地中熱空調システムの導入(高い省エネルギー効果)  
2025年5月 HP 90kW

地球環境と共生した企業を目指す

私たちは ➡ 挑戦します ➡ 社会に貢献します



## 2. 会社紹介

### ① 会社概要

|      |  |
|------|--|
| 商号   | 株式会社日本ピスコ  |
| 設立   | 1976(昭和51)年10月18日  |
| 資本金  | 4億8,856万5,000円   |
| 従業員数 | 530名   |
| 事業内容 | 空気圧機器の開発・製造・販売   |
| 事業所  | 本社工場／岡谷市長地柴宮3-15-1<br>伊那第一工場、伊那第二工場、伊那第三工場<br>伊那第四工場、伊那インター工場(2026年6月)   |
| 営業所  | 東京、仙台、太田、茨城、八王子、川崎、埼玉、<br>名古屋、長野、静岡、金沢、大阪、新大阪、京都、<br>広島、福岡、熊本 17か所   |
| 海外   | ピスコ台湾、ピスコUSA、ピスココリア、<br>日本ピスコ台湾、ピスコベトナム、ピスコチャイナ  |
| 沿革   | 再生可能エネルギー<br>太陽光発電 2009年2月400(長野県最大)<br>2013年7月205kW<br>2022年12月280kW 蓄電池 計90kW<br>2025年5月200kW 合計1,085kW<br>地中熱空調 2025年5月90kW(長野県民間最大級) |



伊那第二工場



伊那第一工場



伊那第三工場

## ②新本社工場の紹介



世界へ 未来へつながる SASTAINABLEなモノづくり INNOVATION発信基地を岡谷から

～お客様と共に創る～



### ご挨拶

株式会社日本ビスコは1976年10月に岡谷市で創業し、各関連パートナー、皆様方のご協力をいただき、今年で49年を迎えます。

この度、一昨年来建築を進めておりました本社工場がおかげさまをもちまして無事竣工することができました。

これも偏に皆様方のあたたかいご支援の賜物と感謝申し上げる次第でございます。この本社工場は、PISCO商品のモノづくりを未来へつなげる拠点であり、さらには、モノづくりの中核を担うイノベーションセンターとして独創と革新による、持続可能なモノづくりに挑戦する所存でございます。

これからも岡谷市、諏訪地域の社会に貢献し地域の発展に尽力させていただくように努めてまいります。今後ともご支援・ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役会長兼 CEO

山崎 清康

Kiyoyasu Yamazaki



## ■ 本社工場 コンセプト Headquarters Concept



日本ピスコは4つの柱をもって  
社会に貢献します。



## BRANDING

### •ブランディング

独創的な商品〈モノづくり〉、サービス〈コトづくり〉により、PISCOブランドを高め、社会に貢献します。

## MARKETING

### •マーケティング

空気圧市場、FA〈ファクトリーオートメーション〉市場、世界中のお客様により良い商品を提供し続け、岡谷・諏訪地域から社会に貢献します。

## RECRUITING & EMPLOYMENT

### •リクルーティング & エンプロイメント

雇用を促進し、従業員をはじめとする働く人に快適な職場環境を提供します。さらに地域活動へ積極的に参加し、未来の雇用創出を提供し社会に貢献します。

## ■ 建物設計 コンセプト Building design concept



### 主構想

本社工場の特徴は、帆船をイメージしたブルーとホワイトを基調とした独創的なデザインにあります。働く満足度を高め、出社したくなる職場環境を目指したレイアウト、色彩計画からデザインされています。そして、ブランドイメージをさらに高められる環境を建物で創造することを目指しています。サステナブルなモノづくりとイノベーションの発信基地にふさわしい、地球環境や人の環境に配慮した空間づくりをしました。

建物のとりわけ来客玄関やエントランスはブランドイメージをさらに高められるよう最大限の配慮を行い、さらには未来に向かって突き進んでいくデザインで、岡谷のランドマークとなり親しまれる外観としました。

### 設計思想

その時代に考えられる最良の計画、最新の設備を盛り込みつつ、数十年後も活躍できる拡張性や対応力を持つ建築物を目指しています。

特に設備機器関係は時代的な陳腐化が顕著であるため、いかに先進的な技術と更新に手間のかからない計画をするかに重きを置いています。



### 配置計画

住宅街に囲まれた敷地のため騒音源を外部に露出させず、屋上のみに開放する配置としています。

工場を国道側へ建て、住宅街に近いエリアは従業員駐車場とするなど、視覚的・騒音環境的に配慮しました。

1～3階まで階段状にし、周囲への圧迫感の軽減とビル風現象への配慮を行いました。



### 平面計画

来客・従業員・搬入出の動線を明確に分け、潜在的な事故を未然に防ぐことを目指しています。段差のない構造、手すりや多目的トイレの設置等、ユニバーサルデザインを積極的に取り入れました。



### 住環境

工場を思わせないワンランク上の仕上げ、設備、環境を整え、快適に職に従事してもらえる環境づくりに力を入れました。

景観の良い恵まれた条件を活かし、ふと外を眺めれば絶景が現れる窓配置としました。



## ■ ブランドイメージを高める空間 A space that enhances the brand image



### エントランスホール

特徴的なデザインが目を引くエントランスホールは、災害時の防災拠点としての機能も持っています。また、備え付けのモニターでは屋上の太陽光発電設備による発電の状況をご案内しています。夜になるとライトアップされ、螺旋階段の明かりは未来に向かってスパイラルアップしていく姿をイメージしています。



### 地域に親しまれ、社会に貢献する施設

近隣の子どもの職業体験、工場見学や社会授業ができる場所づくりを推進しています。また、敷地内駐車場を小学校や近隣地域の行事の際の駐車場として活用していただくなど、地域貢献に取り組みます。このほか、地域避難場所として活用いただき、地域の防災拠点として活用できるよう検討を始めています。



### デザイン

本社工場の独創的なデザインは、3階建ての特注ガラスのカーテンウォール（外壁）、吹き抜けのエントランスホール、螺旋階段に展望エレベータ等に特徴づけられています。



働きやすい環境づくり  
働く人が快適に仕事に従事できるよう、3階にはシャワー室と保健室を設けてあります。また各階に多目的トイレを設けています。



## ■ 自然エネルギーを効率的に活用した空間 —地球環境への配慮— A space that efficiently utilizes natural energy



### 地中熱利用

エントランスの大空間の空調に地中熱を利用することにより、大気中への熱排出を抑え、同時に使用電力量を大幅に削減でき、環境負荷の原因とされるCO<sub>2</sub>排出抑制に大きく貢献しています。

※この地中熱システムは、環境省の「令和6年度二酸化炭素排出抑制事業費等補助金」を活用し整備しました。

設計監理 株式会社創和設計  
施工 株式会社マナテック  
施工 株式会社角藤



### 太陽光利用

屋上に太陽光発電設備200kWを設置し、蓄電池設備60kWも併設することにより、生み出した電力を建物内で効率的に使用します。またソーラーカーポートにも太陽光発電設備と蓄電池設備を設置、発電した電力は敷地内の外灯やEV充電に使用されます。これらの設備によりエネルギーの地産地消を目指します。



設計監理 株式会社創和設計  
施工 株式会社トーエネック

### 高効率設備機器の導入

絶縁油に植物油を使用したアモルファス変圧器を採用。熱は廃棄せず空気だけを入れ替える全館換気設備、空気圧縮機の排熱利用システム、建屋南面の日よけルーフ、全館でのLED照明の採用、天窓による採光確保対策など、高断熱化と高効率化に取り組んでいます。

### 低炭素社会の実現に向けて

低炭素社会実現に向けたZEB Readyを視野に入れた設計をしています。まさしく、「PISCO SDGs」を体现させる取り組みを推進しています。

※ZEBとは、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目標とした建物です。

2025年11月取得予定





## ■ 人・地域とつながる空間 A space that connects with people and the community



### 役員応接室

展望デッキに面しており、諏訪周辺の眺望が望めます。通路側はスイッチ1つで透明ガラスがすり調のガラスに瞬で切り替えができる、瞬間調光ガラスを使用しています。



### カフェテリアスペース(食堂)

木を多用したあたたかみのある雰囲気の特徴です。富士山をイメージしてデザインされており、社員のリラックス空間、ワークスペース、打ち合わせ等、多目的に使えるスペースです。諏訪湖や富士山を眺望できる展望デッキともつながる癒しの空間づくりをしています。



### 展望デッキ

2階と3階には展望デッキが設けられており、天気の良い日には手前に諏訪湖の全景、その諏訪湖越しに雪峰富士山、東には八ヶ岳、正面には甲斐駒ヶ岳、西には中央アルプスの峰々を望むことができます。働きながら移ろいゆく信州の季節を感じられます。



### 外構樹木

正面玄関の右手、国道20号線に面したエリアにはさまざまな樹木を植えております。エントランスホールから見える5本の杉は、京都市北西部の北山地域で生産される特殊な杉「北山台杉」を用い、「帆船」をイメージして植えられています。また旧本社で、条件の悪い環境でも成長を続けてきた通称「根性松」も敷地内に移植されております。さらに、岡谷市の木「いちい」、本社前の国道20号線の先が諏訪大社下社秋宮であることから御柱で使われる「もみの木」、他に「コニファ」「クスノキ」「南天」等、さまざまな樹木が植えられています。もみの木は成長したらクリスマスツリーとして楽しんでいただく予定です。

### あゆみ館

当社の歴史と現在製造している製品の展示を予定しています。過去から現在、そして未来への思いが詰まっております。(2026年6月完成予定)



### 新本社工場の一部を 道路用地として岡谷市へ寄贈

周辺道路拡幅により地元、東区のみなさんが交通安全対策を要望していることを知り、岡谷市へ協力を申し出ました。創業の地・岡谷市のみなさんに支えられ事業展開をしてきたことに感謝し、「まちづくりに貢献する」という思いによるものです。この功績に対して、紺綬褒章を受章しました。

### 古井戸

本社の敷地内に古い井戸が見つかりました。これはこの地にかつてあった工場の名残りです。この古井戸を潰すことなく駐車場の一角に残しています。



## ■ サステナブルなモノづくりとイノベーションセンターとしての空間 *A space for sustainable manufacturing*

### ◆モノづくりの中核を担うイノベーションセンター



#### 技術本部

開放的な1フロアで当社の製品設計を行う部門です。モノづくりの中核を担うイノベーションセンターとしての機能も有しています。オフィススペースの有効活用や社員間のコミュニケーション活性化、柔軟な働き方の実現のためのフリーデスクも設置してあります。



#### 商談コーナー

個々の空間に仕切られていますが、入口に大きなガラスを設けることで開放的という特徴があります。



#### SIソリューション

人の手の代わりとして機能するロボットハンド。そのパーツの試作評価から顧客使用条件に応じた吸着テストなど、ロボットの制作に加え、ロボットを活用したソリューション提案に取り組んでいます。



#### 耐久試験室



#### 真空吸着テストルーム



#### 開発イノベーションルーム





### 環境試験室

温度、湿度、エア質など、さまざまな使用環境を複合的に想定した評価環境を整備し、製品の品質保持に努めています。



### 各種試験室・実験室

耐久寿命確認、使用環境を想定した耐振動、耐衝撃性能評価、製品や材料の引張破壊試験、予備実験、基礎技術実験、流量特性評価などは、すべての製品の品質維持向上に日々行われています。また、さまざまな要求仕様を満たしているかを検証する予備実験や基礎技術実験などを実施しています。

|            |  |
|------------|--|
| 耐久試験室      | さまざまな商品に要求される耐久寿命確認の実施   |
| 環境試験室      | さまざまな使用環境(温度・湿度・エア質)を複合的に想定した評価環境を整備   |
| 工作室(分室)    | 金属材料の組織レベルでの品質確認   |
| 引張・振動試験室   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●製品の輸送時や使用環境を想定した耐振動、耐衝撃性能を評価</li> <li>●製品や材料の引張破壊試験</li> </ul> |
| 実験室        | 商品の諸性能評価を実施し、要求仕様を満たすか予備実験や基礎技術実験などを実施   |
| 流量測定       | カタログスペックの重要な要素である流量特性を評価   |
| 3D プリント室   | 構想段階での樹脂、ゴムの外観評価、機能評価を実施<br>デザインや流量を設計初期段階でスピーディーに評価   |
| 測定室・校正室    | 測定環境温度を一定とし、各種測定を実施<br>計測機器の精度を維持するための校正室も完備   |
| 真空吸着テストルーム | ロボットハンドパーツの試作評価から、顧客使用条件に応じた吸着テスト・各種一式提案に活用  |

### ◆独創と革新による サステナブルなモノづくりの現場



### プレス室

高精度の加工ができる大型のプレス機で部品の製造をしています。現在5台が稼働中ですが、将来の設備増設にも対応できる設計になっています。



### 組立工場

プレス室で作られた部品を用いて、主に「継手」製品の組み立てを行っています。

■ 完成までの経緯 —計画から竣工まで— The process of completion -From planning to completion-



|             |       |                       |
|-------------|-------|-----------------------|
| 2018(平成30)年 | 2月    | 岡谷市長地に土地取得(オリンパス工場跡地) |
| 2022(令和4)年  | 12月   | 地元工事概要説明会             |
| 2023(令和5)年  | 4月    | 地元工事説明会               |
|             | 4月28日 | 安全祈願祭                 |
|             | 4月    | 工事着手                  |
|             | 5月～   | 地盤改良工事開始              |
|             | 7月～   | 基礎工事開始                |
|             | 10月～  | 地中熱ヒートポンプ用工事開始        |
| 2024(令和6)年  | 2月14日 | 立柱式                   |
|             | 2月～   | 鉄骨工事、コンクリート工事開始       |
|             | 5月27日 | 上棟式                   |
|             | 7月～   | 外壁工事開始                |
| 2025(令和7)年  | 3月31日 | 建物完成・引き渡し             |
|             | 4月30日 | 外構工事完成                |
|             | 5月 2日 | 竣工式                   |



## ■ 本社工場概要 Overview of the new headquarters and factory



- 敷地面積：合計 約19,236㎡(約5,829坪)
- 構造：本社社屋 鉄骨造3階+屋上  
防災倉庫 鉄骨造平屋  
スロープ 鉄筋コンクリート
- 延べ面積(人則)：合計/12,608.12㎡(約3,820坪) 115名  
1階/6,215㎡(約1,883坪)  
製造一課・プレス課 41名  
2階/4,001㎡(約1,212坪)  
開発部・技術部 60名、長野営業所 4名  
3階/2,346㎡(約725坪)  
役員室・秘書室・人事課・経理課 10名
- 主要設備：●太陽光発電設備205kW+蓄電池設備60kW  
●EHP熱源機 計2,450kW(電気空調)+  
GSHP熱源機 計90kW(地中熱空調)  
地中に200Φボアホール×深さ75m×18本  
地中熱交換器 75m×2×18=総長2,700m  
●エアコン連携熱交換型全館換気システム  
●コンプレッサ排熱の暖房再利用設備  
●EV充電スタンド 35kW×1基、25kW×3基(計4基)
- その他：●全工場連携型電力監視システム  
●静脈認証型セキュリティゾーン管理システム

(人数は2025年9月末現在)



## 株式会社日本ピスコ

本社工場  
〒394-0083 長野県岡谷市柴宮 3-15-1  
TEL.0266-33-0088 代  
FAX 0266-33-0087  
URL: <https://www.pisco.co.jp>





## 地中熱ヒートポンプ



GSHP-3022URTF

導入設備

ランニングコスト -80%

157,620円

燃料使用量 -100%

0.0ℓ

CO<sub>2</sub>排出量 -75%

4.56 t-CO<sub>2</sub>

※実績データより

※電気料金単価：20円/kW

比較設備

ランニングコスト

768,880円

灯油使用量

6,040ℓ

CO<sub>2</sub>排出量

17.64 t-CO<sub>2</sub>

※推定データより

灯油料金単価120円/ℓ にて算出しております。

## 吸収式冷温水器



MD-40

地中熱空調設備 施工：株式会社マナテック 株式会社角藤

地中熱ヒートポンプ

導入設備



| 計測月<br>(2025年) | COP  | 消費電力量       | 電力料金    | CO <sub>2</sub> 排出量 |
|----------------|------|-------------|---------|---------------------|
| 4月             | 12.6 | 1.3 kWh     | 26円     | 0.7527kg            |
| 5月             | 5.5  | 33.3 kWh    | 666円    | 19.281kg            |
| 6月             | 15.0 | 593.6 kWh   | 11,872円 | 343.69kg            |
| 7月             | 8.7  | 2,641.3 kWh | 52,826円 | 1,529.31kg          |
| 8月             | 7.9  | 3,058.6 kWh | 61,172円 | 1,770.92kg          |
| 9月             | 12.9 | 1,399.8 kWh | 27,996円 | 810.48kg            |
| 10月            | 25.0 | 152.9 kWh   | 3,058円  | 88.53kg             |

GSHP-3022URTF

※実績データより（四捨五入による誤差はあります。）  
※電気料金単価：20円/kW CO<sub>2</sub>排出係数：0.579 にて算出しております。



### 3. 地中熱利用の普及について

弊社では、これまで取り組んできた地球温暖化対策の取組みを継続することに加え、新たに地中熱利用を採用し、地球温暖化対策と経済性の両立を実現することを目的としています。新本社工場のデザインの象徴スペースあるお客様の入出口のエントランスホールに地中熱ヒートポンプシステムを導入することにより、来社されるお客様に地中熱ヒートポンプシステムによる冷暖房効果を体験いただくことが出来ます。

また、国道20号からのエントランスの景観に注力し、3階まで吹き抜けのガラスのカーテンウォール、螺旋階段、展望エレベータと夜になるとライトアップされ、螺旋階段の明かりが未来に向かってスパイラルアップしていく姿をイメージしている照明効果により、更に注目を浴びております。その大空間に地中熱ヒートポンプシステムの空調を使用することで、建物と地中熱ヒートポンプシステムの相乗効果を狙い、より地中熱利用の普及に繋がると考えています。

#### ①地中熱設備により見込まれるCO2排出削減量や効果について

新本社工場は、近傍施設での熱応答試験結果や運用実績などから地中熱利用に適している場所だと考えました。そして地中熱設備を導入することにより二酸化炭素削減量は、年間20.3tの試算結果となりました。弊社は全社的に環境負荷の低減に取り組んでおり、地中熱利用により加速化させることができ、従業員の環境意識向上に繋がると考えております。また、民間企業の先駆者として弊社が実績を作り、工場見学者や訪問者への地中熱利用の大切さや地中熱設備のメリットや詳細説明を通じ、また、運転データ解析結果などを弊社ホームページに反映することにより、更なる地中熱ヒートポンプシステムの普及に寄与したいと考えております。

#### ②補助金を導入することの必要性

地中熱ヒートポンプシステムを導入する際、イニシャルコストの高さが弊害となりました。弊社は環境省の補助金※を活用させていただきましたが、民間企業が空調設備として自主的に地中熱ヒートポンプを導入することは困難であるため、補助金の活用と民間企業が活用できる補助金の整備が必須だと感じております。今後、民間企業が活用できる新しい補助金が整備されることを希望し、先ずはこの長野県から地中熱利用が益々普及していくことを切に願い、弊社ができることを実施し地中熱利用の普及を推進させていただきます。 ※環境省「令和6年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」



ありがとうございました。

















## ②新本社工場完成

### ご挨拶

株式会社日本ピスコは1976年10月に岡谷市で創業し、各関連パートナー、皆様方のご協力をいただき、今年で49年を迎えます。

この度、一昨年来建築を進めておりました新本社工場がおかげさまでもちまして無事竣工する事ができました。

これも偏に皆様方の温かいご支援の賜物と感謝申し上げる次第でございます。この新本社工場は、PISCO商品のモノづくりを未来へつなげる拠点、更には、モノづくりの中核を担うイノベーションセンターとして独創と革新による、持続可能なモノづくりに挑戦する所存であります。

これからも岡谷市、諏訪地域の社会に貢献し地域の発展に尽力させていただくように努めてまいりますので、今後ともご支援・ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

つく  
～お客様と共に創る～

株式会社日本ピスコ

<https://www.pisco.co.jp>

代表取締役会長兼CEO 山崎 清康

取締役社長兼COO 河西 利行

### ■コンセプト…

独創

革新

挑戦

感謝

日本ピスコは4つの柱をもって、社会と共に成長します。

#### BRANDING(ブランディング)

独創的な商品(モノづくり)、サービス(コトづくり)によりPISCOブランドを高めていきます。

#### MARKETING(マーケティング)

空気圧市場、FA(ファクトリーオートメーション)市場、世界中のお客様により良い商品を提供し続け、岡谷・諏訪地域から世界に発信します。

#### RECRUITING & EMPLOYMENT (リクルーティング & エンプロイメント)

成長により雇用を促進し、社員に快適な職場環境を提供します。更に地域活動へ積極的に参加し、未来の雇用を創出していきます。

## ■ 新本社工場の特徴

### ● デザイン

創的なデザインは、3階建ての特注ガラスのカーテンウォー新  
本社の独ル(外壁)、吹き抜けのエントランスホール、螺旋階段に  
展望エレベータ等からなる特徴としています。



### ● 地中熱利用

エントランスの大空間の空調に地中熱を利用することにより、大  
気中への熱排出を抑え、同時に使用電力量を大幅に削減でき、  
環境負荷の原因とされるCO2排出抑制に大きく貢献しています。



### ● 地産地消(太陽光利用)

屋上に太陽光発電設備200kWを設置し、蓄電池設備60kWも併設  
することにより、生み出した電力を建物内で効率的に使用します。  
またソーラーカーポートにも太陽光発電設備と蓄電池設備を設置、  
発電した電力は敷地内の外灯やEV充電に使用されます。これらの  
設備によりエネルギーの地産地消を目指します。また、ZEBに  
も(年間のエネルギーの消費量の収支がゼロ)貢献しています。





## ■ 新本社工場概要

### [新本社社屋]

- 構 造 : 本社社屋 鉄骨造3階+PH階  
防災倉庫 鉄骨造平屋  
スロープ 鉄筋コンクリート地下1階+地上1階
- 延べ面積 : 合計12,608.12㎡ (約3,820坪) (115名)  
(人員) 1F 6,215㎡ (製造1課、プレス課) (41名)  
2F 4,001㎡ (開発・技術部) (60名)(長野営)(4名)  
3F 2,346㎡ (役員・秘書室、人事・経理課) (10名)
- 主要設備 : 太陽光発電設備205kw+蓄電池設備60kW  
EHP熱源機 計2,450kw(電気の空調)+  
GSHP熱源機 計90kw(地中熱の空調)  
200Φボアホール×深さ75m×2×18本=2,700m  
エアコン連携熱交換型全館換気システム  
コンプレッサ排熱の暖房再利用設備  
EV充電スタンド 35kW×1基 25kW×3基(計4基)
- そ の 他 : 全工場連携型電力監視システム  
静脈認証型セキュリティゾーン管理システム

### [所 在]

住所: 長野県岡谷市柴宮3-15-1 〒394-0083

TEL: 0266-33-0088(代) FAX: 0266-33-0087 URL: <https://www.pisco.co.jp>

